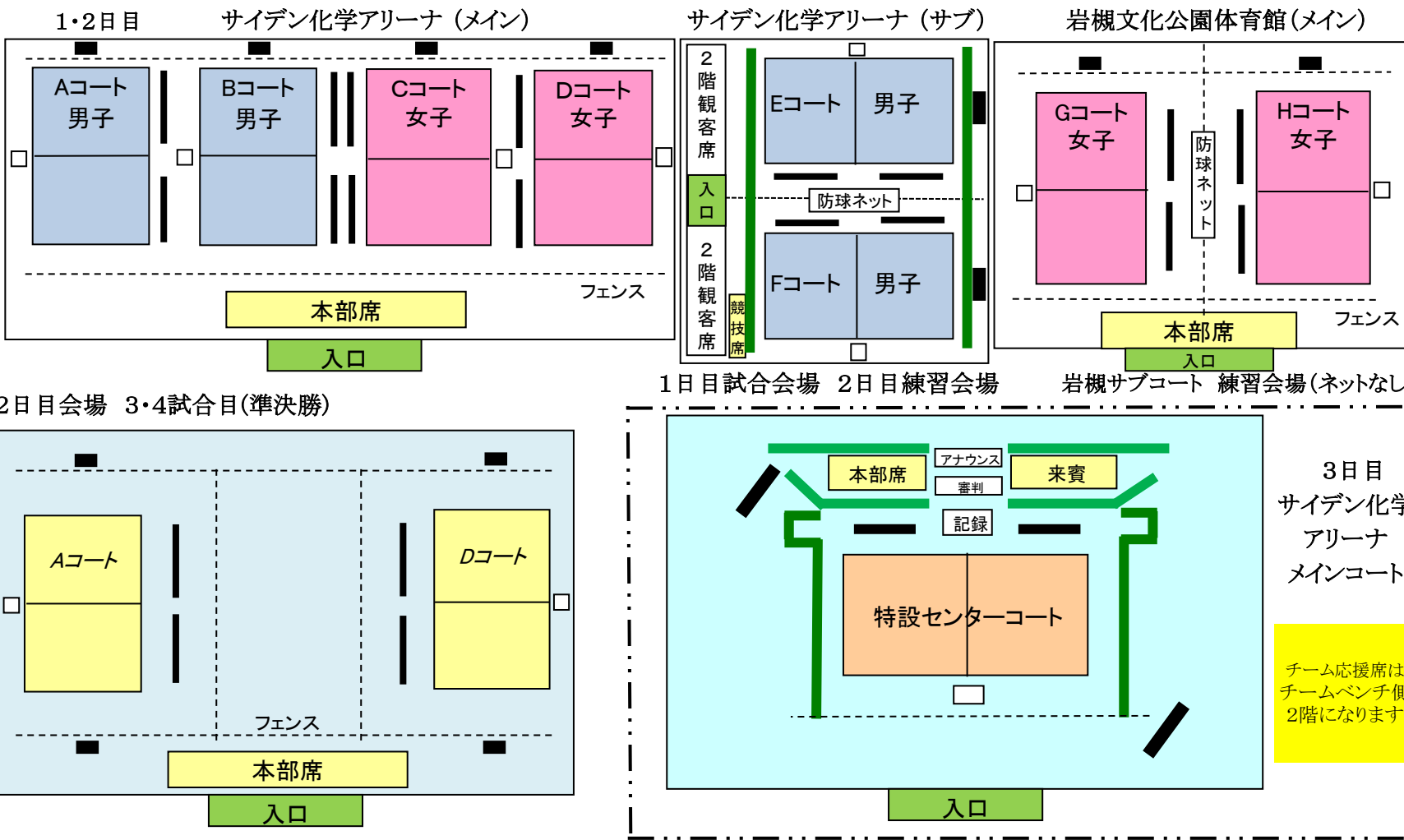


武蔵コーポレーション杯 令和7年度 第78回 全日本バレーボール高等学校選手権大会 埼玉県予選会

2025.10.23 競技部

- 1 期 日 令和7年11月4日(火)・5日(水)・女子8日(土)男子9日(日)
- 1日目 [男子]サイデン化学アリーナ (メインAB 2面 ・ サブEF 2面)
- [女子]サイデン化学アリーナ (メインCD 2面) 岩槻文化公園体育館 (GH 2面)
- 2日目 [男女]サイデン化学アリーナ (メインABCD 4面・準決勝:メインAD) サブコート 練習会場(ネットなし)
- 3日目 [男女]サイデン化学アリーナ (決勝:特設センターコート1面)
- 2 時 間 1・2・3日目 役員開館 8:30 監督会議 9:00 開館 9:15 試合開始 10:00 ※1・3日目役員はコート設営
- 3 出場校数 36校
- 4 シードチーム及び抽選について
- (1)高校総体大会県予選の上位4チームを第1～第4にシードする。 (2)同大会の県予選ベスト8を第5～8に抽選する。
- f
- 5 大会使用球 男子：モルテン 女子：ミカサ
- 6 競技方法 トーナメント方式
- 1、2日目 (1)1日目の試合間はすべて追い込みとする。
- (2)追い込みで行うため、隣が試合中でもボール使用の練習を可とする。(試合中のコートにボールが入らないように注意)
- (3)クイックモップを導入します。
- (4)給水タイム(13点、30－30)30秒間を設ける。
- (5)1日目は第1試合の補助役員は第3試合のチームが行う。第2試合以降の補助役員は敗者チームが行う。
- (6)コートの準備及び写真撮影終了後、競技役員の指示に従い、次のチームがコートに入り練習を開始する。



準決勝はA、Dコート。決勝は特設センターコート。点示は各コート2ヶ所

2日目	サブコートは練習会場(ネットなし)。 第2試合のチームが練習。 ⇒第3試合 ⇒第4試合			
試合順序	試 合	コ ー ト	T V	補 助 役 員
1	男女 準準決勝	4面(ABCD)	なし	2試合目の両チームから補助役員
各コート20分後プロトコール				
2	男女 準準決勝	4面(ABCD)	なし	1試合目に負けたチームが補助役員
男子遅く終わったコートから20分後プロトコール ・ 女子遅く終わったコートから20分後プロトコール				
3	男女 準決勝	2面(AD)	なし	2試合目に負けたチームが補助役員
追い込み				
4	男女 準決勝	2面(AD)	なし	3試合目に負けたチームが補助役員
3日目				
8日(土)	女子 決勝10:00～	特設センターコート	放映	線審(教員) ・ 点字、ボールリリバーは南部 ・ モップ、クイックモップは当該チーム
9日(日)	男子 決勝10:00～	特設センターコート	放映	線審(教員) ・ 点字、ボールリリバーは南部 ・ モップ、クイックモップは当該チーム

(1) 決勝は、5セットマッチ(5セット目は15点)で行う。 公式練習は5分ずつ。5ボール制。テクニカルタイムアウト(8点・16点)を採用する。

(2) 選手交代用パドル、タイムアウト、選手交代時用のブザーを使用。

7 「スタッフ変更届」については、各チーム初日の第1試合開始30分前に提出のこと。

8 サブコート (1) 1日目の応援席は交代制。 部旗、横断幕の交代。のぼり旗は禁止。

(2) 2日目は、練習会場として使用可(ネットなし)。3日目は使用できない(SVチーム使用のため)。

9 チームスタッフは襟付きの服装で、できるだけ統一する。

10 トレーナー席をフェンスの外側に設ける。(トレーナーは学校名及び氏名入りのIDカードを使用)

11 閉会式は1位、2位のチームのみ参加する。

競技上の確認事項

- 1 コート使用許可後、第1試合のチームのみ練習可です。
- 2 試合前後の挨拶は握手です。
- 3 新型コロナ感染症による選手変更はできません。
- 4 ビデオ・カメラ・スマホ等での撮影は、2F観客席から行ってください。ベンチを含め1Fフロアーからの撮影は禁止です。
- 5 鳴り物の制限はありませんが、体育館の事情や審判のホイッスルが聞こえづらい場合は遠慮いただくことがあります。
- 6 チームを応援する方には、学校名入りのIDカードを用意してください。(チームで統一された学校名入りのTシャツ等でも可)
- 7 棄権のチームが出た場合の措置について
 - (1)棄権することになったチームは、各地区委員長に報告してください。
 - (2)棄権のチームが出た場合(事前・当日を問わず)、試合順はトーナメント通りに進行します。その場合、30分の練習時間を確保します。第3試合のチームで棄権が出た場合、出場できるチームから9名の補助役員をお願いします。(事前に連絡できる場合は、事前に連絡します。)
 - (3)次の試合の補助役員は、前の試合の敗者チームが行うことになります。